

農政の動き 2016年2月19日～2月24日

◇15年産米の1等比率は82.5%（1月末現在）◇

農林水産省は、2015年産の水稲うるち玄米の1等比率は1月31日現在で82.5%と発表した。前月末比では、0.1ポイント低下したが、前年同期比を1.2ポイント上回り、11年産以降で、同時点では最も高い。2等以下への格付け理由は、充実度は24.4%、心白と腹白が20.6%、整粒不足は19.8%、着色粒（カメムシ類）が19.3%——など。（22日）

◇地域特産物マイスター 新たに24人に認定証◇

日本特産農産物協会（高德一理事長）は都内で第15回地域特産物マイスターの集いを開き、新たに24人に認定証を交付した。地域特産物の栽培や加工などの経験と高い技術を持つ人を認定し、産地育成などにつなげるのが目的。今回、青森、富山、山口の3県にそれぞれ初のマイスターが誕生し、認定者は全都道府県で計244人となった。（22日）

◇韓国で口蹄疫続く 1月以降4例目◇

口蹄疫の発生が続いている韓国で、韓国政府が新たな2例の発生を確認したと、農林水産省が公表した。韓国での発生は、1月以降で計4例目。忠清南道の天安市と公州市の養豚場で、17日に疑い例が見つかった。農林水産省では、生産現場に飼養衛生管理の徹底などを呼び掛けている。（23日）

◇15年産大豆の収穫量 5%増の24万2400ト◇

2015年産大豆（乾燥子実、以下同）の収穫量は前年産比5%増の24万2400トとなったと、農林水産省が公表した。関東を襲った台風などの影響で10ア当たり収量が3%減の171キロとなったが、水稲や小豆などからの転換で作付面積が8%増の14万2千ヘクタールに拡大した。（23日）

◇政府備蓄米 買い入れ予定数量の99.3%落札◇

農林水産省は、政府備蓄米の2016年産政府買い入れ入札結果（第3回、23日実施）を公表した。提示数量1908トに対し、落札数量は431トとなった。落札数量の合計は、買い入れ予定数量22万5千トに対し、約99.3%となる22万3526トとなった。次回は3月8日の予定。（24日）